

安全対策委員会事業報告書

(2021/4/ * * 日現在)

安全対策委員会	担当理事	富樫 泰一	
	委員長	上杉 一哲	神奈川県
	副委員長	川内 慎吾	新潟県
	委員	秋元 洋一	北海道
	委員	影山 広美	北海道
	委員	鈴木 恵太	山形県
	委員	須藤 光春	青森県
	委員	遠藤 秀明	福島県
	委員	新井 和夫	栃木県
	委員	新村 昌宏	長野県
	委員	中島 浩二	岐阜県
	委員	米田 幸雄	兵庫県

2021 年度安全対策パトロール部安全対策委員会の事業結果について次のとおり報告します。

◆2021 年度第1回安全対策委員会 専門委員会議事録

日時:2020 年 11 月 1 日(日)12:00～13:00

場所:オンライン会議

出席者

- ・教育本部担当:富樫泰一 理事
- ・専門委員:上杉一哲、川内慎吾、秋元 洋一、鈴木 恵太、新村昌宏、遠藤 秀明、新井和夫、影山 広美、須藤 光春、米田 幸雄、中島浩二、(順不同)
- ・事務局:芹澤伊香、古谷奈津子

会議内容については以下のとおりです。

1. 出席者 富樫理事、専門委員 11 名、SAJ 事務局員 2 名 計 14 名
2. 会議開会宣言(上杉委員長)
3. 富樫担当理事あいさつ

専門委員会議にご出席いただき、ありがとうございます。

私はこの度北関東ブロックの推薦を受けて理事に就任した茨城県スキー連盟所属の富樫と申します。紹介の必要もないかと思いますが、昨シーズンまで皆さんと一緒に安全対策部で仕事させていただいていました。

この度、担当理事と立場は変わりましたが、安全なスノースポーツ普及、発展に全力を注ぐ所存でございますので、ご支援、ご指導、よろしくお願い致します。

4. 審議事項

(1)新型コロナウイルス感染防止対策について

(ア)検定会について

①会場設営については次の内容を順守する。

*第 1 会場・第 2 会場ともに、宿舎に係るコロナ感染防止対策を宿泊施設と緊密な連携を取っていく。

*理論テスト及び室内実技テスト時に受講者(受検者)同士の間隔を 2m程度確保できる広さを確保する。

*換気:会場の十分な喚起を行う。(30 分に 1 回、5 分程度 可能な限り 2 方向を同時開放)

②検定種目について

*出題範囲等については次のとおりとする。

【ロープ操法・救急法テスト】

- 検定規程及び検定基準と実施要領に示された方法で実施する。
- ロープ操法テストは規程どおり「8 種目」とする。
- 救急法テストは検定会では「非接触型」で実施する。
- 救急法テスト種目数について「膝×2、下腿×2、足首、頭、額、下腿の直接圧迫、たたみ三角巾(全巾・八折)収納が 1 種目として計 8 種目で行うこととする。
- 中央研修会とブロック研修会までに資料(養成講習会対応)を作成する。
- 試験出題種目は非公開とする。

【基礎種目・搬送種目】

- スキー実技(基礎種目)は、検定基準と実施要領により実施する。
- スキー実技(搬送種目)は、検定基準と実施要領により実施する。
- アキヤボート搬送種目では感染対策(操者と傷病者役)を行う。

【理論テスト】

- 日本スキー教程安全編、2021年度教育本部オフィシャルブックより出題する。
- 会場設営の際、できる限りのスペースを取り、進めて行くこととする。第1、第2会場共に事前チェックをする。

(イ)養成講習会について

①会場設営については、養成講習は加盟団体の主管事業となっているため、開催加盟団体のガイドラインに沿った感染防止対策を講じて設営をしていく。

②講習会内容

- 特例措置による救急法における養成講習単位時間を補うために映像提供等で対応し、公平・平等とする。
- 三角巾種目について、非接触型の種目を動画にしてeラーニングとして安対部のHPで配信し養成講習材料とする。
- その他の三角巾種目については、日本スキー教程安全編のDVDを視聴する。
- 三角巾のeラーニング用の動画は、中央研修会で撮影してHPで配信する方法とする。
- 動画撮影方法は、専門委員がスマホ等で撮影して、HPで配信して技術員が確認し、各加盟団体の養成講習会で指導する。
- 動画については、11月末までにアップします。そこで動画を配信するか、You Tubeで配信する際は、そこへリンクサイトを表しておくこととする。

(ウ)研修会について

①会場設営は、上記養成講習会の設営方法を準用する。

②実技について

- ・雪上実技をベースとしてカリキュラムを組む。
- ・室内種目については、極力実施しない。

③理論講習について

- ・感染防止対策を講じて実施、またはeラーニングとする。

④その他

- ・開会式、閉会式は無しとする。
- ・受付等の手順は、養成講習会を準用する。
- ・講習中のマスク・フェイスシールド(ゴーグル可)着用義務とする。

(2)SAJガイドラインについて

(ア)役員・講師の感染防止策

役員等の感染対策について、スポーツ庁ガイドライン(主催者用)則って進めていくものとする。

(イ)パトロール従事者に対するガイドラインについて

- SAJとして現地パトロールへのガイドラインを作成するのか？
- SAJで基本的で簡単なものでかまわないのでガイドラインを作成してほしい意見あり。
- (案)をベースで現場合わせを行い、救急隊との連携を視野に入れた方策を検討していく。
- 新井専門委員と協力して進めていくこととする。

(3)安全対策委員長会議について

(ア)配布資料の確認及び議事進行について打ち合わせ

- 委員長会議の次第は配布済み。
- 議事進行は、川内副委員長が司会進行役とする。
- 出席者の紹介(北から順に氏名と県連名)を次第の順に自己紹介とする。
- 開会宣言、担当理事の挨拶、審議事項としては、事業要項(別紙)を説明する。

5. 閉会宣言(秋元専門委員)

◆全国安全対策委員長会議議事録

日時:2020年11月1日(日)13:00~17:00

場所:オンライン会議

運営役員:富樫泰一、上杉 一哲、川内 慎吾、秋元 洋一、影山 広美、須藤 光春、鈴木 恵太、遠藤 秀明、新井 和夫、新村 昌宏、中島 浩二、米田 幸雄、佐藤 博一(総務研修委員会)、有元 崇浩(アドバイザー、国際情報委員会)、芹澤 伊香、古谷 奈津子(事務局)

出席者:加盟団体安全対策委員長(または代理)

司会:川内 慎吾

次第

1. 出席者紹介

(公財)全日本スキー連盟役員

担当理事:富樫 泰一

安全対策委員長:上杉 一哲

安全対策副委員長:川内 慎吾

安全対策専門委員:秋元 洋一、影山 広美、須藤 光春、鈴木 恵太、遠藤 秀明、新井 和夫、新村 昌宏、中島 浩二、米田 幸雄

アドバイザー:有元 崇浩

加盟団体安全対策委員長(または代理)*を除いて 21 名

(公財)北海道スキー連盟 安全対策部部長 後藤 博昭

(一財)青森県スキー連盟 安全対策委員長 竹原 伸郎

(一財)岩手県スキー連盟 安全対策委員長 高畑 伸也

宮城県スキー連盟 安全対策委員長 三神 良太

秋田県スキー連盟 安全対策部長 高橋 一彰

山形県スキー連盟 安全対策部長 *鈴木 恵太

福島県スキー連盟 安全対策部長 *遠藤 秀明

茨城県スキー連盟 安全対策部長 高瀬 勝則

栃木県スキー連盟 安全対策部長 *新井 和夫

群馬県スキー連盟 安全対策委員長 中澤 卓, 安全対策部顧問 森山 直温

埼玉県スキー連盟 教育本部総務部安全対策委員会委員長 谷島 稔

千葉県スキー連盟 千葉県スキー連盟教育部安全対策委員 早川 英明

(一財)東京都スキー連盟 安全対策部部長 清水 哲治, 安全対策部副部長 酒井 潤

(公財)神奈川県スキー連盟 安全対策委員会委員長 *上杉 一哲
NPO 法人山梨県スキー連盟 スキー学校委員会副委員長(安全対策委員代行) 立木 翔
教育本部事務局長望月 剛
(公財)長野県スキー連盟 安全対策部委員長 *新村 昌宏
(公財)新潟県スキー連盟 安全対策委員長 *川内 慎吾
富山県スキー連盟 副部長 奥田 純
石川県スキー連盟 安全対策本部長 吉本 幸司
(公社)愛知県スキー連盟 安全対策部長 福岡 優子
岐阜県スキー連盟 安全対策部長 内方 陽一
滋賀県スキー連盟 安全対策部長 長尾 卓哉
京都府スキー連盟 教育部長 北垣 寛
兵庫県スキー連盟 安全対策専門委員 *米田 幸雄
広島県スキー連盟 教育本部安全対策委員長 平川 朝水
オブザーバー: 日本スキーパトロール協議会会長 遠藤 正

2. 開会宣言 (上杉安全対策委員長)

3. 富樫担当理事あいさつ

本日は大変お忙しい中、全国安全対策委員長会議にご出席いただきありがとうございます。

私この度、北関東ブロックの推薦を受けて SAJ 理事に就任致しました、茨城県スキー連盟所属の富樫と申します。

昨年までは SAJ 安全対策委員会、副委員長として本日の運営役員と同様に安全対策部で仕事をさせていただいておりました。この度、担当理事と立場が変わりましたが、安全なスノースポーツの普及、発展に全力を注ぐ所存でございますので変わらず、ご支援、ご指導を宜しくお願い致します。

さてこの会議はシーズン初めに各加盟団体の安全対策委員長が一堂に会しスノースポーツの安全対策や、スキー場の安全管理等について情報交換するとともに、SAJ 事業の円滑な運営の為、各種事業に対するご理解と、ご協力を得る大変貴重な場でもあります。

昨年度は新装となったとなった日本スポーツオリンピックスクエアで開催しましたが、教育本部長会議と併催の為、各委員長の意見をうかがう時間が全く取れませんでした。そこで今年度は、昨年度の反省を踏まえてオンラインとはなりましたが単独での委員長会議に戻すことが出来ました。

この会議には各加盟団体の安全対策委員長様はじめ、3,000名を超えるスキーパトロール有資格者、ドクターパトロール有資格者で構成されるスキーパトロール協議会会長の遠藤 正様、アドバイザーとしてSAJ国際情報委員会の有元崇浩様にご出席いただいております。

さて、SAJ 教育本部は昨シーズンよりオフィシャルブックの巻頭に「安全なスノースポーツ指導者のため」を掲載し、安全なスノースポーツ指導の普及を一層強力に取組む姿勢を明らかにしました。

今シーズンも継続して安全対策を強化する姿勢としました。皆様には日頃から、様々な面でご支援いただいておりますが、with コロナ時代にあって各種事業の円滑運営が出来るよう、より一層のご協力をお願いし、理事として開会のあいさつとします。

よろしく申し上げます。

4. 審議事項

(1)2021SAJ 教育本部安全対策パトロール部事業要項【OB2021 pp.124-133】

①全国安全対策委員会議について、昨年度は加盟団体本部長会議と合同で開催され、本年度は新型コロナウイルス感染症対策として単独オンライン会議にて開催しました。

次年度におきましても同じ時期、単独開催と予定しています。

オンライン会議につきましては、コロナの感染状況を鑑みながら決定し、ご出席、ご協力をお願いしたいと思います。

②中央研修会につきましては11月19日から前年度と同様に北海道で開催予定です。

③前年度の公認スキーパトロール検定会は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、2会場とも中止になりました。本年度の検定会場は昨年度開催予定の2会場での開催とします。

④今年度、全国パトロール総会を開催いたします。会期、並びに会場は公認スキーパトロール研修会東日本会場と併催で山形県蔵王温泉スキー場にて行います。【上杉】

(2)2021SAJ 教育本部安全対策パトロール部研修課題【OB2021 pp.044-055, DVD】

研修課題の内容は新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業中止やスキー場等の営業中止により雪上活動がままならない状況となっていました。新型コロナウイルスの流行の終息の見込みが立っていない状況ですが、次年度事業の開催に向けて安全対策、事故防止、パトロール技術再確認として内容を継続しながら、研修課題として記載しましたのでご理解いただきたいと思います。【上杉】

(3)2021SAJ 教育本部 「資格検定受検者のために」【受検者 2021 pp.112-118, DVD】

前年度の内容を継続で掲載しています。

その中で相違点は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う特例措置について記載しています。これは後ほど説明します。

次に検定については、新型コロナウイルス感染防止の対策を講じながら各種目を実施していきます。

受検者への感染防止対策として、特にロープ操法や救急法テストについて、密にならないような手順などを検討しています。特に救急法テストは「非接触型」で実施する予定です。

今、この場での救急法テスト種目の内容説明はできませんが、日赤救急法教本の中から8種目を選んでやると言う事を受検者へ指導していただいて、検定時に救急法を理解しテストに臨めるようにしていただければと思っています。

なお、救急法テストの手順については11月末日をめどに安全対策パトロール部のホームページにて動画をアップします。そこからYou Tubeとリンク出来るようにしたいと思っていますので、その動画を見て受検者の指導に役立ててもらふ事や、受検者が視聴して勉強する事が必要になると思います。

日赤救急員の認定証の交付を既に受けている受検者も同様に動画を視聴し勉強する形となります。この様な形で検定を実施することは、新型コロナウイルス感染予防対策であること受検者に周知していただくために、この委員長会議でお願いする次第です。【上杉】

(補足説明)

委員長の説明の中で出版物の校正漏れがあったので補足説明します。

出版社(山溪の千葉さん)には修正する様に伝えましたが、残念ながら、校正漏れがありました。

有効期限は3ヶ年とする。ただし→またに変更。

p113一番下の義務研修の受講年度と受講期限の表です。

2018年に規約改正して従来3年に一度が2年に一度となりました。このことにより2017年度に受講した人は3年有効なので2020年。2018年に受講した人は2年になるので表の上から2020年度、2020年度、2021年度、2022年度になります。

2020年度が2つあります。校正漏れがありましたので訂正をお願いします。

受検者への直接の影響はないと思いますがよろしくお願ひ致します。【富樫理事】

◆質疑①

【東京、清水】 頂いていたデータでは直っていますが、出版物の紙の刷り上がったものが間違っているということでしょうか。

【富樫理事】 はい、そうです。何故か直っていませんでした。

【北海道 後藤】 検定会について、検定会で合格証の交付はいつも合格されている方に渡していると思いますが、今回救急法が出来ないと言う事で、どう言った段階で郵送されるとか、その辺の進め方についてお聞きしたい。

【上杉】 先に認定料、登録料、後日合格者対象でSAJの方からメールによって送られます。その後、登録料を支払われた段階で、公認されることになります。

また、従来の認定証ではなくて、合格証として授与します。これは、スキー・スノボも共通しています。

【SAJ 芹澤】 昨年まで検定会で授与していたパトロール公認証が今年度より新しいものになります。それは認定証ではなく、合格証です。渡すタイミングは検定会で合格時とします。最終的に合格した年度内に公認料がシクミネットから支払われない場合は、検定に合格しても公認されません。

【北海道 後藤】 救急法をとっていない人も、シクミネットで支払った段階で登録といった形でよろしいですか。

【SAJ 芹澤】 はい、今シーズンシクミネットでの支払い期限は2021年7月31日の予定

その日までに支払われなければ、「資格は付与されない」という形となることを理解していただきたい。

(4)2021 加盟団体主管パトロール研修会一覧【配布資料 02】

手元の資料No.1～16までが現時点での加盟団体よりSAJへ申請されている団体数になる。

まだ申請されていない団体がありましたら、申込みの期日は過ぎていますが、SAJ事務局へ相談していただけたらと思います。【上杉】

(補足説明)

事務局で把握している最新の状況は、16団体から多少増えている。直前に申請があった団体があるので最終的には19団体になっています。【SAJ 芹澤】

◆質疑②

【北海道、秋元】 研修会につきましては各それぞれの地区委員のスキーやボードの研修会と同じような運営方法が必要だと思います。その辺は横の連携を取り十分に配慮してやった方が良いと思います。北海道で実施する場合、理論等は上杉委員長の解説をよく読むように言って、今年は雪上のみで行おうとしています。

検定会において、昨年の受検者の皆さんに対してのことで、第1会場(北海道)予定の受検者に関しては養成講習について、例えば北海道に来るときは講習会があるので、義務付けられてはいませんが参加したい人は参加して下さいとか、特例措置が取られている事とか、文書で昨年の受検者にも送り、不安、不公平なく受検できるように今から対応しています。

【青森、須藤】 青森はスキーやボードと同じように三密を避けるような形で、検温を実施するなどの方法でやっていく予定です。

【川内】 受検者に対して安全対策パトロール部のホームページを見て種目等を再確認してほしいと言う事を各加盟団体で受検者に連絡してほしいと思います。

【福島、遠藤】皆さんの言われたとおり今年の with コロナと言う事で、三密を防いでガイドラインに乗っ取って行けば良い結果が出るのではないのでしょうか。

【栃木 新井】研修会の研修内容として、今シーズンはコロナ禍と言う事で、皆さん 3 密にならないいろいろなアイデアをお持ちだと思いますが、栃木県はまだ研修内容については正直白紙状態なので、出来ればこういう方法がコロナ禍ではベターであるのではないかとアイデアを各加盟団体の方法、手順というものを教えていただきたい。

【富樫理事】皆さんに聞く前に SAJ として今年度に限り理論研修に関しては全て e ラーニングで対応するという姿勢です。

e ラーニングに必要な映像 SAJ の公式ホームページで公開されたので、是非、そのことを皆さんに周知していただきたいと思います。

【上杉】スキー、スノーボード、安全対策の指導者研修会の理論につきましては、オフィシャルブックの DVD の中、あるいは安全対策パトロール部のホームページにもリンクを貼って、皆さんが視聴できるようになっています。

このことにより、理論を理解して、実技をスムーズに加盟団体の地域の実情に合った、かつ特色のある研修会を実施していただきたいと思います。

新型コロナウイルス感染防止対策の SAJ ガイドラインを作成中です。今の状況では、開催場所の自治体や体育協会、スキー連盟、スキー場のガイドラインが優先してきます。その辺をよく把握して、加盟団体として研修会や講習会のカリキュラムを作っていたらと思います。

【山形、鈴木】検定会、研修会の話が出ていますが、例えば研修会を山形で予定していますが、もしその中で予防をしていたものの、クラスターが起きた場合、いろいろな場所や場面での責任問題をどの様に予想されているのか。もし起きた場合の参考にしたいのですが。

【富樫理事】答えようがないですね。

SAJ として全責任をとられるのか、その辺がどうなのか、考え方が良くわからないのです。

【SAJ 芹澤】私もその辺のことは聞いていないので、答えられません。

【上杉】責任という部分につきましては、どこがどのような対策をとっていたのかと言う事が検証されます。そして地元の保健所等を通じて様々な対策が講じられます。あと市町村の対応と言った所があるので鈴木さんが言われたように、どこが責任をとるのかと言った時に、例えば感染対策をしていなくて起きてしまった場合と、しっかりして起きてした場合とでは変わってきます。その辺は起きた際に保健所等、また市町村、該当県の判断が出てくると思いますので我々とする、感染対策をしっかりやっている事によって、リスクは少なくなると思います。

【山形、鈴木】それ以外で例えば受講生が持っていて感染したとか、講師が持ってきて感染したとか、そのようないろいろ想定されると思いますが、その辺りの予想というか準備してもらって、我々の方に教えてもらわないと、と思いますが。

これから山形では県内の研修会も行うし、3 月には総会・研修会を蔵王で行う予定です。

その辺までどの様にするのかと言う事の多くの情報を欲しいのでよろしくお願いします。

【上杉】都道府県自治体や加盟団体独自のガイドラインを作っていると思います。

研修会や養成講習を開催するとき加盟団体のホームページでガイドラインを出している所が多いので加盟団体の役員も受講生もそれを見てお互いの自己管理が重要になってくる。

また、当日の検温やチェックリストをしっかりとって、感染者の追跡が出来るような形をとるのも一つの方法だと思います。

【山形、鈴木】その件で、山形の方でも講習会が始まっているので、日赤の方のチェックリストを参考に記載をしておりますけれど、もし何かがあった際、開催者に問い合わせが来ると思いますので、

予防だけではなく、その方の心配もある程度しておかないといけないと思います。

出来れば SAJ の方でも対応というかどの様にするのか参考出来るようなものがあればと思っています。

【上杉】 それは SAJ というよりも主催団体がコロナウイルスの感染者が出た際のフローチャートを作っていかなければいけないと思います。

仮に発生した場合、その感染者の経路の確認と濃厚接触者を特定することやその際の連絡体制とかをフローチャート形式のもので作らなければいけないと思います。

【山形、鈴木】 是非、情報があつたらよろしくお願いします。

【上杉委員長】 承知しました。情報あり次第報告したいと思っています。

【広島、平川】 養成講習会の時間ですが、前年度に比べ今年度増えているのですが、内容的に変わったとか、昨シーズン受けている人が今シーズン受けなくても受検に問題ないのか知りたいです。

【上杉】 昨年より実技 6.5 時間、理論 2 時間と増えています。これにつきましては受検資格の中で、加盟団体が実施する養成講習会が検定までに修了した修了証で証明されたものとなっていて、今年度から新しいカリキュラムになったからいままでのものではダメと言う事ではなく講習科目の内容が変更となったことではなく、講習時間が増えたということで、今、言われた心配はしなくて結構です。

(5) スキーパトロール検定に係る特例措置について【OB2021 pp.129】

公認スキーパトロール受検者の受検資格要件で「日本赤十字社救急法救急員の認定証交付を受けていること」となっていますが、日本赤十字社が新型コロナウイルス感染拡大により、全国的に救急員養成講習会の開催が中止となっており、受検資格の要件を満たさない受検者がいる状況を考慮して、新型コロナウイルスの影響により、申込期日までに認定証が取得できない受検者のために特例措置として、申込み時に認定証の交付を受けていない者も受検を可能とする措置を取りました。

ただし、翌年の 5 月 31 日までに救急員の認定証を取得して SAJ に加盟団体を通して届けてもらうこととします。このことを現状で救急員認定証の交付を受けていない受検者に周知していただきたいと思っています。

このことにより、救急員認定証を交付されていない者が同資格認定証の交付されている者と同レベルに救急法実技が出来るようにすることが重要となり、各加盟団体では養成講習会で指導強化をして欲しいと思います。【上杉】

◆質疑③

【北海道、後藤】 救急員の資格について日赤に聞いたところ年内の講習は出来ないとのこと。5 月 31 日の期日までに出来なかった際、ご配慮いただけるのでしょうか。

【上杉】 今は 5 月末までには救急員の資格を取得し、出していただくと言う事になっています。このことについてはご理解とご協力をお願いします。

この先状況がさらに酷くなってきたら検定自体も中止になる可能性もあります。その状況をよく鑑みて進めて行きたいと思っているので、一概に結論的なものは出せません。今のところは規定に準じてやっていただきたいと思っています。

(6) ボードパトロール検定について

昨年もスノーボード委員会などとも連携して検定内容を検討しています。

来シーズンにスノーボードによる受検も出来る様に進めていきたいと思っています。

内容がある程度決まり、どの様な種目をやるのか、ある程度の構想は出来ているのですが、まだ

時間をかけて審議しなければならないため、今後、継続審議いたしまして実施に向けて調査研究を進めていきますので、近いうちに報告できればと思います。【上杉】

(7)その他

【山形、鈴木】 来年の事を聞きたいのですが、今年のコロナの影響と言う事があり、検定会場が昨年と同会場の福井県になりましたが、東北では3年くらい検定会をやっていません。

今年、受検者が何人かいるのですが、北海道と福井では遠いので行こうか悩んでいるらしいです。来年の検定会場はどの様に考えているのでしょうか。

【富樫理事】 昨年度はコロナの影響で厳しい状態だったので今回はリベンジと言う事でこの会場になりました。来シーズンは従来のローテーションに戻して考えていくべきだと考えていますがいかがでしょうか。となると、次は東北と言う事になります。

【山形、鈴木】 その旨地元の皆の前で伝えてよろしいでしょうか。

【富樫理事】 それを含めて中央研修会の専門委員会議で検討出来ればと思っています。

【司会、川内】 有元さん、今、流行りのバックカントリーとかで何かありますか。

例えば、コース外滑走とかのご意見として何かありますかでしょうか。

【アドバイザー、有元】 パトロールのみなさんの中で共通認識が出来ていれば良いと思います。

私も富良野スキー場でパトロールのメンバーとしてシーズン中動いていますが、共通認識が取れていれば良いと思います。

ですから、皆さんはご存じだと思いますが、全国安全対策協議会と言う所がスキーに関するルール作りをしています。板東先生はそれをきっちり守ってれば管理者側として、管理者側の直属の安全を司っているパトロールとして、リスク負担が軽減されると言っています。全パトロールの人達が専門委員、技術員も勿論そうなのですが、各隊員や各スキー場の方たちが理解することによってリスクが軽減されます。

ただ、バックカントリーは、スキー場、管理区域外になります。区域外の話になるので実質 SAJ がスキーパトロールをする上でバックカントリーは管理をする必要がない所になります。

そこの部分を勘違いしない様にさせていただく事により、オペレーション自体が楽になります。

皆さんの中に知らない人がいれば学んでいってもらえば良いし、知っている方は追及していただければバックカントリーに関しての事も出てくると思います。

【福島、遠藤】 全国の委員長の皆様に伺いたいのですが、

パトロールの大会がなくなって数年たつのですが、私はパトロールの大会は復活させた方が良いのではないかと考えているのですが。

大会からの高い技術のフィードバックと言うものもあるし、その中で新技術も生まれると思います。

全国の委員長がどうお考えなのかお聞きしたいです。

【宮城、三神】 競技会復活は賛成で、そういう方向であれば良いと思いますが、やはり参加者人数の問題が大きいかなと色々さんさして行き復活しても良いのではないかと思います。

競技会がなくなった理由は、年々参加者が減っていったこと。それから収支、大きなマイナス事業になります。

もし、復活するのであれば、その辺、マイナスにならない様な手立てが必要になると思います。

【富樫理事】 32回で終了となり、私も是非復活したいと思っています。予算的にかなり厳しい中で、裏技的に考えているのが、例えばパトロール研修会と言うのは SAJ 直轄の事業でまだ2つ残っています。研修会の実技研修として行くと全員が研修会参加者なので予算とか、経費という事が無いので、しかも研修会参加者であり自費参加なのでそれなら実現できそうな気がするなと思います。

最初はなかなか周知が行き届かないので、参加者は少ないかも知れませんが、ヒートアップしてかつての大会の盛り上がりを見せられるのではないかと思います。

これが、実現可能性の高い方法として考えています。

【上杉】 競技会が無くなってしまった経緯も聞いています。

理事が言われた様な事もありますし、あとは皆さんがスポンサーを集めて SAJ の経費を軽くして行う事も一つの手で、技術戦もそうしてスポンサーを集めて行われています。

その為にも、スポンサーにとって、宣伝効果のある大会にしなければなりません。

その辺も踏まえて、皆さんのスポンサー集めもやって行き、何でもかんでもスポンサーを集めるわけではありませんがちゃんとしたところとスポンサー契約して大会も運営されるという所も理事の意志に続いて考えられることです。

以前、総会の時、アキヤボートレースをデモンストレーションで行いました。

あのような流れで理事の言われた様に進んでいくと思いますし、スポンサーをつけてバナーも着け、大々的に全日本スキー技術選のように発展していくと思います。復活、再開できる方向にもって行きたいと考えています。

【福島、遠藤】 是非そのような方向に向かう事を願っています。

【東京、酒井】 養成講習で理論を e ラーニングでやるには、効果と言うのはどの様に測定していこうとされているのか、皆さんの状況をお聞かせ願いたい。

【上杉】 実際に e ラーニングをして効果測定を行うためには、その場(画面)に問題を出してやる方法で理解力を測定する。

また、問題に対してレポートを提出してもらい、判断して行くという形があると思います。

それ以外にも例えば、スキーの養成講習を行うのにそれぞれの加盟団体が試行錯誤して考えている状態ですが、これが、来年、再来年、続くようであれば考えていかなければならないと思います。今シーズンで終わるようであれば、レポート提出が一番ベターなのかなと思います。

【東京、清水】 他の県で、e ラーニングを作っている県連さんはどの位いますか。

【北海道、秋元】 北海道は今シーズンで終わると考えてまだ制作していません。

【東京、清水】 今年度は対面と言う事でしょうか。

【北海道、秋元】 コロナの三密を避けるという事で理論は間隔をとって、他の講習会と一緒にやる方向。

また、中央研修会等で専門委員の方である程度ガイドラインを示していただけるのではないかと考えているので、それを元に対応していきたいと思っています。

【東京、清水】 どうしても e ラーニングのコンテンツを作るとなると時間がかかるので、それを待ってられないと東京都は動き出しています。

コンテンツを作るにあたり、教本をさらっていけば良い部分は大丈夫なのですが、委員長もおっしゃっていましたが、効果測定をレポートにするのか、もしくは選択肢問題にするのかでアイデアが出てくるのですが、それをどうまとめていくのか、問題が山積していると言うのが神奈川と東京で考えている所で、もしそういうアイデアがあったら教えていただきたいと思っています。

【長野、新村】 長野県ではパトロールの方は対面でやって行くつもりです。

養成講習を受講する人が少ない事もあり、十分なソーシャルディスタンスもとれるので対面でやって行くのですが、準指導員、正指導員の方の講習の方で安全編の講習の部分を実対部で e ラーニングを作らせてもらっています。その部分は有元さんが詳しいのでお願いします。

【アドバイザー、有元】 県連の方の養成講習会のパワーポイント等 e ラーニング用の制作が終わりまして、実対部としてはズームを通じてパワーポイントを録画し、それをグーグルの方にアップし、最

最終的に受検者だけが閲覧できるという形になっています。

SAJ の様なおおきな組織が e ラーニング用の動画を作っただいてそれを利用するというのが理想的だと思います。

なぜかと言うと、作成者の肖像権であるとか、もともとあるデータの著作権等が作ったものの殆どにかかってくる。そう言った所を網羅することは非常に難しい。

実際に長野県では受検する人だけが閲覧できるような形をとって、進んでいく感じになります。安対部以外のそれぞれの部署が、それぞれ動画を制作してアップする流れになっています。

実際の所、安対部はすべて終わっていますが、競技部、教育部の方は 5 日の日に私達も含め集まり撮影を行ったり、修正したりする予定になっています。

【山形、鈴木】 山形の方の研修会は 12 月に予定してあります。まず研修を受ける方は 12 月の研修を受けてくれていますので、一応声がけしてみますが 3 月と言うと忙しいスキー場もあれば、来てくれる人もいますが、今から集める上で 12 月の方に行ってしまうので頑張ってみますが厳しいと思います。

【富樫理事】 今日全国の委員長さんがいますので是非アピールを。

【山形、鈴木】 蔵王では、理論研修はなるべくしない様に考えています。今、考えているのは中央ゲレンデの方にサンゴロウ小屋と言う小屋がありまして、そこで全国でも 2 か所しかないうちの一つであるビーコンのトレーニングシステムがあり、このシステムを使用させてもらい勉強会をやって、カーボンアキヤボートをはじめ、いろいろなアキヤボートを引いてもらえるような状況を作ろうと思っています。蔵王全山をみんなで滑ろうということも出来ると思いますので、全国の委員長の皆さん、3 月の蔵王に是非来ていただけたらと思います。

【富樫理事】 今言われた PR のポイントを中央研修会までにまとめていただき安対のホームページで PR していきたいと思いますので、資料の取りまとめをお願いします。

【山形、鈴木】 承知しました。

6. 報告事項

(1) 各加盟団体報告【事前提出資料】【配布資料 01】

【北海道・後藤】 検定自粛中だった為、公パト受検者は 17 名の予定。ルスツで行われていれば、26 人の検定者がある予定だった。北海道開催の技術選、Jr. の全日本の大会がルスツリゾートで行われ、そこには必ず秋元、影山専門委員をチーフに委員がついて大会のサポートにあたる事を主観において安全対策の者も一緒に行動すると言うことを心掛けている。

【青森・須藤】 事業報告は資料参照。今シーズンは雪不足で始まり、コロナで終わった。

パトロール受検者は県パトが 6 名。公パトが 5 名予定通り検定が出来ていれば 5 名の新しい仲間が出来たのですが残念ながら中止ということで今シーズン受検する予定になっています。

【宮城県・三神】 事業は資料通り。昨年報告がなかったので一昨年先シーズンの報告。指導者研修会の中で安全対策の中身を深めていただくということで、実際に研修会で怪我をした際の処置の仕方、技術員の先生と共に講習をして安全対策の関心を深めてもらった。それによって今シーズンのパトロールの受検者が増えつつある。

【秋田・高橋】 昨年度の研修会は秋田、八幡平スキー場で行った。昨年は雪不足でしたが八幡平は標高が高いこともあり豪雪に見舞われて良い検定が行われた。今シーズンは田沢湖スキー場にて 12/28～27 で行われる。

【山形・鈴木】 毎年同じような形で評価している。2 月まではインバウンドが結構入っていたが、3 月になりパタツといなくなり 3 月からは翻訳機がいなくなった。

【福島県・遠藤】 事業は資料の通り。近年技術員の先生方や指導員の先生方の講習中にケガが多いということで、そちらの対処を講習会での講義の時間を多くいただいてパトロールの活動を指導者の方に周知して頂いて一人でも多くのパトロール受検者が増えるように努力しています。

【茨城県・高瀬】 コロナにより活動中止ということでした。今シーズンの国体の大会開催に向けてコロナ対策の基本方針が出たので参考にし、これに基づいて感染を防ぐ。

【栃木・新井】 例年通りの行事を行いました。公パトの受検者は皆無だったので行いませんでした。今年は栃木始まって以来5人～6人の受検者が出そうです。

【群馬・中澤】 宝台樹スキー場にて加盟団体の研修会を行いました。救急法では昨年、沼田広域消防署から2名の講師を招き現場の経験を生かした救急法をお願いしました。

雪上研修ではアキヤの練習を行いました。宝台樹スキー場の中島隊長に現地にて安全対策、過去の事故現場等の説明。昨年は雪が少なかったため少雪対策、この辺りの勉強をしました。

群馬県は本年度より森山さんから中澤に委員長が変更になりましたので、よろしくお願い致します。

【埼玉・谷島】 行事は報告書通りになります。

受検者の養成講習がメインになり昨年は受験者3名を予定して行っていましたが、コロナにより受検できず。

公パトの研修会参加者の取りまとめ、各教育部へのパトロールの派遣などを行いました。

【東京・清水】 本年度、三井より清水に委員長が受け継がれました。

行事は報告書通りで公認パトロール受検者が6人の予定でした。

本年度、その6人が受検してくれることを願っています。研修会は20名位でした。

加盟団体安全講習会を全クラブに向けて行っている。

来年度よりこの講習を受けないと各行事が出来ないという形式をとって安全啓蒙を全クラブに広げていきます。あと、都連の教育と行事への派遣をおこないました。

【神奈川・上杉】 行事は報告書通りで、通常通りの行事を行いました。中でも検定会は中止になりましたが、受検者がいなかったため、今シーズンはしっかりと受検者を確保できる体制をグリーンシーズンから行って行っていて、何人か受検者が増えて来ています。

昨年は通常通りの事業でしたが、本年度より東京都連と合同事業を組み南関ブロックという形で養成講習と研修会を合同開催し、その効果によって人数の確保と予算の軽減、削減という形をとります。

研修会等で受講生や受検者の怪我人が見受けられる。私たち安全対策部はそういった啓蒙を講師に向けて発信し、事故を防ぐような形をとっている様な形です。

【山梨・望月】 山梨の望月です。代理での参加です。

行事は報告書のとおりです。

コロナ対策について書かれていますがシーズン終わりの事となります。受検者は一人ですがもう一度受けると聞いています。

【長野・新村】 雪不足から始まりコロナで悩まされたシーズンでした。

その中で県パトの方は予定通りにこなせましたが、受検者は減っていて少なかったです。

公パトの方は受検者が0人と残念でしたが実際の検定自体も中止と言う事でした。

加盟団体主幹の研修会は県パトの研修会と同日程で同じ内容で行いました。JPTEC ファーストレスポンダーコースをJPTEC スタッフにより座学～実技まで講習をしてもいました。

【新潟・川内】 事業内容は報告書通り。年々受検者が減っている。県内にスキー場が沢山あるので、出来るだけ公パトに受検者を増やすように今後とも努力していきたいと思っています。

【富山・奥田】 事業内容は報告書通り。公パト受検者が新潟と同じく少なくなっているため、増やす

ように努力していきたい。

昨年受検するはずだった 2 人が今シーズン受けるとのこと。どのスキー場に聞いてもパトロール、社員、アルバイトその他もろもろ、好きな上で働く人が少なくなってきた。スキー場において、従業員に最低日赤の救急員は取ってもらおうと考えている。

【石川・吉本】 事業報告は記載されているとおり。昨シーズン西日本研修会を 2 月 22 日～23 日で開催しました。

雪不足とコロナ等で参加しにくい環境の中、多くの方に参加していただき感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

【愛知・福岡】 事業報告は記載されている通り。

10 月の日赤救急員講習会は愛知の方でなかなかスケジュールが合わないため、同じブロックである福井県に行き、宿泊を伴って行ってきました。養成講習はブロックで一緒に行っているの、加盟団体では行ったことはありません。研修会は西日本会場が石川県と言う事もあり、皆に声をかけて石川の方で数名参加しました。

受検者の養成講習は、愛知には小さなスキー場しかないため、他県に出かけることが多いです。

他の県の技術員において、その県の受検者と一緒に練習することができた。

今年は現在、昨年受検できなかった 3 名(5 名中)新たに 1 名増え 4 人の予定。今シーズンも色々なところにお世話になると思いますがよろしく願いいたします。

【岐阜・内方】 事業報告は報告書通り

昨シーズンは 4 名受けるはずでしたが今シーズンも 4 名が受けると思います。

パト隊長会議、SAJ 公認パトロール研修会。県パトの研修会を同時開催しました。

今年度も平湯温泉でパトロール研修会を行う予定。

【滋賀県・長和】 事業報告は報告書通り

【スキーパトロール協議会・遠藤】 日本スキーパトロール協議会の中の目的には全日本スキー連盟の安全対策事業に理解、協力をして安全事故防止に寄与することなどをうたって、全日本の行事に参加していくと言う事で活動している。毎年、公パト検定会で会場に来て SAJ のご配慮により合格者へのパトロール協議会への加入の呼びかけに協力いただいています。

この場をお借りして御礼申し上げます。

パトロール協議会では、夏場に総会を行っています。全国各地で行っており、昨年は初めて北海道で開催しました。

本年はコロナにより書面総会となりました。来年は 50 回という節目なので青森県浅虫温泉にて 7 月ころに行う予定。

全国の安全対策の委員長が集まっているので是非、会員の方に声がけして沢山の人が参加してもらいたいと思っています。

【アドバイザー・有元】 国際スキー連盟と直接話す機会があり COVID19 の対策であったり、そういったものに関して人を集めて講習会であったり大会であるとかそういった物にはつねづね注意するようにという話がありました。その様なことも FIS の関係でしています。私の方から色々な情報がありましたら富樫先生を通じて話をしていきたいと思います。

(加盟団体報告について質疑)

【青森、須藤】 質問というより聞きたいと思ったのですが、来年度の検定会に青森からも 5 人受けようとしたのですが、コロナで受けることができなかった。次回の検定会に全員受けるのかと思っていたところ、やはりコロナの関係で次で受けようと思っていた人の 2 人が受けることが出来ない。職場等の理解が受けられない等の事があったので、全国の人達はどうか知りたいので、聞こうと思いまし

た。その割に受ける人が多い話をしてくれたので、なかなかこれから厳しくなっていくと思われる中で受けようと思っている人が沢山いて安心しました。

(2)2020 安全対策部事業報告【2019-2020 教育本部報告書】

事業報告書の説明【上杉】

(3)その他

特に意見等なし

7. 閉会宣言（秋元 洋一前委員長）

いつもなら皆さんの顔を見ながら直接話を聞けるのですが、画面上の顔でしかお会いできないと非常に懐かしくもあります。淋しい思いもあります。

私は委員長として4期(8年間)。その前は副委員長3期(6年間)と言う事で安全対策部の方で仕事させていただきましたけれど、その間、東北全県とか群馬、岐阜、長野、と多くのスキー場にお邪魔して事業をさせていただきました。地元の関係者、スキー場関係者のおかげで全部無事事業を終えることが出来たことが非常に懐かしくもあり、感謝の思いでいっぱいです。

本日も、この様な形でしたが、長時間お疲れ様でした。今後、顔を合わせる機会があると思うので情報交換していただけたらと思います。本当にありがとうございました。

◆2021 年度第2回安全対策委員会 専門委員会議事録

日時:2020年11月20日(金)13:30~15:00

場所:オンライン会議

出席者:

- ・教育本部担当:富樫泰一理事
- ・専門委員:上杉一哲、川内慎吾、秋元 洋一、鈴木 恵太、遠藤 秀明、新井和夫
影山 広美、須藤 光春、米田 幸雄、中島浩二(順不同)
- ・事務局:芹澤伊香

会議内容について以下のとおり。

- 1 出席者 富樫理事、専門委員10名、SAJ事務局員1名 計12名(1名欠席)
- 2 会議開会宣言(上杉委員長)
- 3 富樫担当理事あいさつ

中央研修会は中止となったが、ブロック技術員研修会はさらに万全な体制で望みたい。

また、コロナ感染防止策を十分に講じてもらいたい。安対部の委員は、経験豊富な方が多いので様々な事業でリーダーシップをとって指導にあたってほしい。

4 審議事項

(1)研修課題について

- 研修会課題の伝達内容の確認
- 理論についてはeラーニングを最大限に活用

(2)安全対策パトロール部ガイドライン(以下「安対ガイドライン」という。)について

- SAJガイドラインに準じ、スキーパトロールの独自性を加味した安全対策パトロール部編を作成、内容について、専門委員会議事録で承認された。

(3) コロナ対策における検定種目等の見直しについて

- 安対ガイドラインに記載されている検定種目の以下の見直し(案)について説明し、見直しについて専門委員会議で承認される。

- ・救急法テスト種目について、非接触型で対応する。

- ・救急法テストは8種目実施するが、すべて1人で行うものとする。その詳細については安対ガイドライン別紙2のとおりとする。

- ・アキヤ搬送は声かけ禁止とし、密にならない配慮をする。

- ・三角巾テストは1分30秒以内で可能か、ブロック研修会で検証後各ブロックへ伝達する。

(4) 次シーズンにおけるパトロール技術について

- 鈴木専門委員より説明

- ・効率的な搬送、横滑りの重要性、2つの切り換えと制動と案は出たが1シーズンかけて、専門委員全員で吟味し、より良い内容を作り上げる。

- ・悪雪時の搬送技術や状況判断の難しいときのデータも要検討との意見あり。

- 富樫理事

- ・将来的に新教程の作成を見据えて、オフィシャルブックへ提案、手ごたえを見て新教程へ反映させる。

(5) 事業に係る役員配置の修正について

- 杉田専門委員の辞任等による変更内容の確認

- 西日本ブロック技術員研修会での経費請求の確認

- 中央研修会、ブロック研修会欠席者の処遇の確認

■パトロール中央研修会

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

【会期】	2020年11月19日(木)～22日(日)
【集合】	11月19日(木) 16:00 集合
【会場】	北海道 札幌国際スキー場
【宿舎】	定山溪万世閣 ホテルミリオオーネ 〒061-2302 北海道札幌市南区定山溪温泉東3丁目 TEL:011-598-3500(代) FAX:011-595-2123
【責任者】	白石 博基
【参加者】	上杉一哲、川内慎吾、秋元 洋一、鈴木 恵太、遠藤 秀明、新井和夫、 新村昌宏、影山 広美、須藤 光春、中島 浩二、米田 幸雄
【事業の目的】	1. 安全対策部の活動方針・事業内容等の周知 2. スキーパトロール検定会・研修会・養成講習会の任務遂行に必要な理論 および実技課題に関する研修

【所見】

今年度の研修会は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止となった。この中止に伴い各委員会より事業報告をPPで提出しeラーニング形式で視聴できるよう作成し提出した。

今後、来期の研修会に係る、課題等の内容を検討することによるパトロール技術の向上と事故防止について取り組む。

■スキーパトロール技術員研修会

□北海道ブロック

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

【会期】2020年11月27日(金)～11月29日(日)

【会場】北海道・札幌国際スキー場

【本部宿舎】 定山溪万世閣ホテルミリオオーネ

〒061-2302 北海道札幌市南区定山溪温泉東3丁目 TEL 011-598-3500

【責任者】

【主任講師】 秋元 洋一

【講師】影山 広美

【参加予定者】 北海道ブロックパトロール技術員 合計 16名

【所見】

□東北ブロック

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により日程を3日間から1日で実施。

【会期】2020年12月4日(金)～12月6日(日) (12月5日実施)

【会場】山形県・蔵王温泉スキー場

【本部宿舎】ホテル オークヒル

〒990-2301 山形県山形市蔵王温泉 756

TEL 023-694-2110

FAX 023-694-2105

【責任者】

【主任講師】鈴木 恵太

【講師】須藤 光春, 遠藤 秀明

【参加者】

東北ブロック SAJ スキーパトロール技術員 6名

【所見】



□北関東・南関東・甲信越・東海北陸ブロック

【会期】 2020年11月27(金)～11月29日(日)

【会場】 群馬県・鹿沢スノーエリア

【宿舎】 休暇村嬬恋鹿沢

〒377-1695 群馬県吾妻郡嬬恋村鹿沢温泉

TEL 0279-98-0511 FAX 0279-98-0513

【主催】 (公財)全日本スキー連盟(所管:教育本部安全対策委員会)

【事業の目的】 1. 安全対策部の活動方針・事業内容の周知
2. スキーパトロール検定会・研修会の任務遂行に必要な理論および実技課題に関する研修

【役員】 責任者:富樫 泰一


主任講師:上杉 一哲

講師:川内 慎吾, 新井 和夫, 新村 昌宏


【参加者】 北関東・南関東・甲信越・北陸ブロックスキーパトロール技術員
(21人)

【日程】1日目 11月27日(金)

			項目	内容
14:00			役員集合	事業・研修内容打ち合わせ
16:00	-	16:10	開会式 川内 場所 大広間	・主任挨拶 ・役員紹介 ・技術員紹介 ・日程説明 ・事務連絡その他(精算, 資料配付)

16:10		18:00	理論研修 1 2h, 上杉 場所 大広間	<p>※受付時に体調チェックシート配布</p> <p>①新型コロナウイルス感染防止ガイドラインについて</p> <p>②検定種目説明・確認(非接触型テスト種目)</p>	
18:00			夕食		
19:00	-	21:00	実技研修1 2h, 上杉、三宅 場所 大広間	<p>① 救急法(非接触型三角巾)</p> <p>② ロープ操法</p>	

2日目 11月28日(土)

			項目	内容	
07:00			朝の集い	体調チェックシートによる自己セルフチェック	
07:30			朝食	朝食後、スキー場へ移動	
09:00		12:00	実技研修 2 3h 富樫 場所: 休暇村鹿沢 高原 IC	<p>③ ロープアクセス</p> <p>課題 I 要救助者へのアプローチ</p> <p>課題 2 引き下ろし</p> <p>課題 3 倍力システムを使った引き上げ</p>	
12:00	-		昼食		
13:00	-	15:00	実技研修 3 2h 新井、前田 場所 大広間	<p>④ バックボード固定</p> <p>⑤ GL2015 対応 CPR+AED</p>	
16:30	-	17:30	理論研修 2 1.0h 場所 大広間	③検定用基礎種目・搬送種目ビデオ研修、講義、事業要項、研修課題(OB)	
18:00			夕食		
19:00	-	21:00	理論研修 3 実技研修 4 3.0h 場所 大広間	<p>④2021 役員配置について</p> <p>⑥救急法(非接触型三角巾)、e ラーニング用映像撮影</p>	

3日目 11月29日(日)

			項目	内容
07:00			朝の集い	体調チェックシートによる自己セルフチェック
07:30			朝食	

09:30		11:30	実技研修 5 2.0h, 場所 スキー場	⑥ スキー基礎種目 
11:30	-	12:00	閉会式 場所 スキー場	

【所見】

今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策、さらには雪不足のため研修会スケジュールを現場合わせにて変更し、併せて班体制や部屋割りの構成も工夫し、宿舎及び理論、実技研修時において、参加技術員 21名及び役員が安全に研修できるよう配慮した。

実技研修 2 では、休暇村嬬恋鹿沢の施設をお借りし、理想的なロープアクセス訓練を展開することができた。

ロープアクセス訓練は 5 年目を迎え、所期の目的を達成しつつ技術の習熟度の向上と経験値をあげることができた。

実技研修 1、4 は、短時間だが、特に救急法(非接触型三角巾種目)に対する伝達は、十分な成果を上げることができた。また、受検者用の e ラーニング映像作成を実施したが予想以上な出来上がりとなった。

実技研修 5 では、今シーズンのパトロール技術の研修課題について、新任の専門委員2名が中心となって、入念な技術伝達と意思疎通ができた。また、新人技術員への技術伝達についても十分な成果の確認ができた。

次年度以降の検討事項として、雪上実技のさらなる充実を図るために開催時期を遅らせるなどの見直しが必要と思われる。

ご協力いただいた、鹿沢スノーエリア及び休暇村嬬恋鹿沢に感謝し報告いたします。

□近畿・西日本ブロック

【会期】2020年12月11日～12月13日

【会場】長野県 志賀高原焼額山スキー場

責任者:白石 博基

主任講師:米田 幸雄

講師:中島 浩二、遠藤 秀明

参加者:近畿・西日本ブロック技術員 4 名

【日程及び概況】

○12月11日(金)

12:00 役員集合 事業・研修内容打ち合わせ

○12月12日(土)

8:30 受付

9:00 開会式

9:30～12:30 デモンストレーション・実技研修(基礎種目)

13:30～15:30 実技研修(搬送種目)



16:00～17:30 理論研修(委員会報告・研修テーマ・検定種目の確認・2021年度役員配置について)

○12月13日(日)

9:00～11:30 実技研修(検定種目)

11:30～12:00 閉会式



【所見】

実技研修の基礎種目では、ポジションを確認しながら種目ごとの運動要領の理解と技術レベルが統一できるように繰り返し練習をし、技術要領を解説しながら研修を進めていったことでスキー技術の伝達ができた。搬送種目では、アキヤボートを使用して、2人搬送・1人搬送に必要なスキー技術の伝達と確認ができた。

理論研修では、研修テーマの理解・救急法検定種目の手順・要領の確認ができた。

最後に志賀高原焼額山スキー場のご協力により十分な雪上実技研修ができたことに感謝して報告とさせていただきます。

■公認スキーパトロール検定会

【事業の目的】

本検定会は、公認スキーパトロール検定規程に基づき、スノースポーツを楽しむすべての人々に、高品質で安全・安心なサービスを提供できるスキーパトロールを認定することを目的とします。

【会期】 2021年2月26日(金)～2月28日(日)

【日程】(会場の都合等により変更になる場合があります)

第1日目	2月26日(金)
10:00	役員集合・検定会役員会議(本部宿舎)
15:00～16:00	受検者受付
16:30	開会式
17:00～18:30	理論試験
18:30	夕食
第2日目	2月27日(土)
07:00～07:30	朝のつどい
07:30～08:00	朝食
09:30～11:30	実技テスト(搬送種目)
12:00～13:00	昼食
13:00～15:00	実技テスト(基礎種目)
16:00～17:30	ロープ操法・救急法オリエンテーション
18:00～19:00	夕食
第3日目	2月28日(日)
07:00～07:30	朝のつどい
07:30～08:00	朝食
09:00～11:00	実技テスト(ロープ操法・救急法テスト)
12:00～13:00	閉会式・合格発表・諸手続き

第1会場

【会場】北海道・ルスツリゾート

【本部宿舎】ルスツリゾートホテル

〒048-1711 北海道虻田郡留寿都村字泉川 13 番地

TEL 0136-46-3331 FAX 0136-46-3229

【役員】

責任者: 上杉 一哲

主任検定員: 上杉 一哲

総務主任: 岡部 秀文

検定員: 秋元洋一、影山 広美、山村 誠、沼澤 伯人

【申込数】 33名(欠席1名)



第2会場

【会場】福井県・九頭竜スキー場

【本部宿舎】 国民宿舎パークホテル九頭竜

〒912-0217 福井県大野市角野 14-3

TEL 0779-78-2326

FAX 0779-78-2334

【役員】

責任者:川内 慎吾

主任検定員:川内 慎吾

総務主任:前田 初志

検定員:新井 和夫, 原野 浩司, 内方 陽一、大月 照治

【申込数】 50名(4名欠席)



■公認スキーパトロール総会・研修会 東日本会場

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

【会期】 2021年3月20(土)～3月21日(日)

【会場】 山形県・蔵王温泉スキー場

【事業の目的】

スキー場の安全対策に関わる関係者等が一堂に会して、スノースポーツの安全対策、スキー場の安全管理に等について、情報交流をする。

【参加者】

公認スキーパトロール有資格者、スキー場安全対策関係者

※全国スキーパトロール総会参加者は、公認スキーパトロール研修会参加とみなす。

【日程】(諸事情により変更になる場合があります)

前日	3月20日(金)
17:00~18:30	役員集合・役員会(本部宿舎)
第1日目	3月21日(土)
07:30~08:30	受付
09:00~	開会式
10:00~12:00	実技研修1(雪上)
12:00~13:00	昼食
13:00~15:00	実技研修2(雪上)
15:00~17:00	実技研修3(雪上)
18:00~19:00	夕食
19:00~21:00	実技研修4(室内)
第2日目	3月22日(日)
07:00~07:30	朝のつどい
07:30~08:00	朝食
08:00~10:00	理論研修1
10:00~12:00	理論研修2
12:00~13:00	昼食
13:00~	閉会式

【本部宿舎】 ホテル オークヒル

〒990-2301 山形県山形市蔵王温泉 756

TEL 023-694-2110

FAX 023-694-2105

【役員】

責任者:富樫 泰一

主任講師:鈴木 恵太

総務主任:新村昌宏

講師:中澤 卓、高橋 一彰、三宅 秀一、熊久保 勅明

【申込数】26名

【所見】

■公認スキーパトロール研修会 西日本会場

【会期】2021年2月20(土)~2月21日(日)

【会場】兵庫県・ハチ高原スキー場

【日程】(諸事情により変更になる場合があります)

前日	2月19日(金)
17:00~18:30	役員集合・役員会(本部宿舎)
第1日目	2月20日(土)
07:30~08:30	受付
09:00~	開会式
10:00~12:00	実技研修1(雪上)
12:00~13:00	昼食

13:00～15:00 実技研修 2(雪上)
15:00～17:00 実技研修 3(雪上)
18:00～19:00 夕食
19:00～21:00 実技研修 4(室内)

第 2 日目 2 月 21 日(日)

07:00～07:30 朝のつどい
07:30～08:00 朝食
08:00～10:00 理論研修 1
10:00～12:00 理論研修 2
12:00～13:00 昼食
13:00～ 閉会式・解散

【本部宿舎】 ロッジみやま荘

〒667-1100 兵庫県養父市ハチ高原

TEL 079-667-7131

FAX 079-667-7351

【役員】

責任者: 米田 幸雄

主任講師: 米田 幸雄

総務主任: 勝田 薫

講師: 内方 一, 小豆澤 幸司, 青木 政明, 清水 哲治

【研修会参加者】 11 名(申込者数 43 名)

【所見】

緊急事態宣言発令中のスキーパトロール研修会開催となり少人数の参加者でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、屋外で開閉会式を行い、実技研修はスキー技術を中心にソーシャルディスタンスを保ちながら講習を行なった。

また、理論研修は e ラーニングの視聴で割愛をし、ロープ・救急法については室内での感染拡大防止の為、自主練習をしていただくことで割愛をした。

スキー技術は、ポジションの確認をしながら基礎スキー技術・アキヤボート搬送に必要なスキー技術を繰り返し練習した。搬送技術は、アキヤボートを前後二人で操作して前の搬送者と後ろの搬送者のスキー操作の仕方・タイミングの取り方を確認しながら研修を行った。

ビーコン・プローブを使用しての遭難者捜索は機材の特性を説明し理解してから捜索訓練をした為、スムーズな救助訓練ができた。

搬送訓練はスノーモービル連結型アキヤボートの特性と併せた研修とした。

最後に兵庫県スキー連盟、ハチ高原スキー場・パトロール隊・ロッヂみやま荘に感謝を申し上げ所見といたします。

加盟団体主管スキーパトロール研修会

NO	研修会名	実施団体	期日	会場	参加者数
1	スキーパトロール研修会 (富山会場)	富山県 スキー連盟	2021/4/24-25	砺波青少年 自然の家	
2	スキーパトロール研修会	(一財)青森県 スキー連盟	2021/4/10-11	八甲田山スキー場	
3	パトロール研修会 【全道:ルスツ】	(公財)北海道 スキー連盟	2021/3/6-7	ルスツリゾート	
4	スキーパトロール研修会 (理論・実技)サンメドウズ会場	NPO法人山梨県 スキー連盟	2021/2/17-18	サンメドウズ清里 スキー場	
5	スキーパトロール研修会 (栃木会場)	栃木県 スキー連盟	2021/2/16-17	ハンターマウンテン 塩原	
6	パトロール研修会 【全道:道東】	(公財)北海道 スキー連盟	2021/2/13-14	サホロ リゾートスキー場	
7	パトロール研修会 【全道:札幌】	(公財)北海道 スキー連盟	2021/1/30-31	サッポロテイネ・ オリンピックアゾーン	
8	スキーパトロール研修会 白馬五竜会場	(公財)神奈川県 スキー連盟	2021/1/23-24	長野県・白馬五竜 スキー場	
9	公認スキーパトロール研修会	(公財)長野県 スキー連盟	2021/1/14-15	志賀高原・一の瀬ダイ ヤモンドスキー場	
10	スキーパトロール指導者研修 会(第2会場・オニコウベ スキー場)	宮城県 スキー連盟	2021/12/26-27	オニコウベスキー場	
11	スキーパトロール研修会 (秋田会場)	秋田県 スキー連盟	2020/12/26-27	たぎわ湖スキー場	
12	パトロール指導者研修会 (第1会場・みやぎ蔵王えぼし リゾート)	宮城県 スキー連盟	2020/12/19-20	みやぎ蔵王えぼし リゾート	
13	スキーパトロール研修会	茨城県 スキー連盟	2020/12/19-20	丸沼高原スキー場	
14	スキーパトロール研修会	(一財)青森県 スキー連盟	2020/12/19-20	青森スプリング・ スキーリゾート	
15	スキーパトロール研修会	山形県 スキー連盟	2020/12/12-13	蔵王温泉スキー場	
16	スキーパトロール研修会	(一財)青森県 スキー連盟	2020/11/22	青森県総合社会 教育センター	

※赤字はコロナの影響による中止会場

研修会参加者総計 名

(SAJ 主管:東日本会場(中止), 西日本会場 11名, 加盟団体主管:**名, 2022/5/**日現在)